

市役所庁舎建設に関する調査特別委員会報告書

平成29年10月30日

備前市議会議長 鵜 川 晃 匠 殿

委員長 守 井 秀 龍

平成29年10月30日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	備 考
現庁舎建てかえに関する調査研究 ① 新庁舎基本設計概要版について	継続審査	—

市役所庁舎建設に関する調査特別委員会記録

招 集 日 時	平成29年10月30日（月）		旧アルファビゼン盗難事件調査特別 委員会閉会后	
開議・閉議	午前11時27分	開会　～	午後0時05分	閉会
場 所 ・ 形 態	委員会室A・B	閉会中の開催		
出 席 委 員	委員長	守井秀龍	副委員長	石原和人
	委員	山本恒道		尾川直行
		橋本逸夫		田口健作
		津島　誠		掛谷　繁
		川崎輝通		立川　茂
		西上徳一		山本　成
		森本洋子		星野和也
欠 席 委 員		なし		
遅 参 委 員		なし		
早 退 委 員		なし		
列 席 者 等	議長	鵜川晃匠		
	参考人	なし		
説 明 員	庁舎建設担当官	平田惣己治		
傍 聴 者	報道関係	あり		
	一般傍聴	なし		
審 査 記 録	次のとおり			

午前 11 時 27 分 開会

○守井委員長 出席者は全員ですので、ただいまから市役所庁舎建設に関する調査特別委員会を開会いたします。

本日は、平田担当官よりお手元に出ております基本設計について説明をお願いいたします。

○平田庁舎建設担当官 本日は、急遽特別委員会の開催をお願いしたところ、御開催をいただきありがとうございます。私から新庁舎整備事業について何点か御報告させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

まず、お配りしております資料について、ここで基本設計が完了いたしました。2月に発注して以来ずっと作業を進めてきたわけですが、先日完成したということで資料をお配りさせていただいております。御説明させていただきたいと思います。

10日ほど前に一部資料を送らせていただきましたが、本日追加分ということでもう一枚お配りしております。1枚目が裏表の2ページ、きょうお配りしたのが表だけの1ページということで、計3ページの資料になっております。

これがいわゆる基本設計の概要版でございます。概要版ということで、当然本編がありますが、そちらは100枚余りの枚数になり、内容もかなり専門的なものになっておりますので、一般の方にわかりやすいようにということで別途概要版をまとめているものでございます。

1ページ目をごらんいただきたいと思います。上に庁舎のイメージパースが2つ載っていると思います。

この外観について、やはり備前市らしさを出したいということで、外壁に耐火れんがのすかし積みとか、備前焼の陶板の使用というものを考えているところでございます。ただ、事業費との兼ね合いもございますので、今後実施設計を進めていく上で調整していくということで、変わってくる可能性もございますし、ここに載せておりますパースはあくまでイメージということで捉えていただけたらと思います。

このページの中段部分には、以前基本計画の中でお示しさせていただいたと思いますが、新庁舎の整備方針6項目を左端に掲げております。これらを実現するためにどういった考え方で進めていくかといったことをそれぞれ右の枠の中に列挙しているものでございます。

下段には計画の概要として、計画地や建築計画の概要、それから電気、空調、給排水といった各設備の計画概要を記載しております。

これも簡単に説明させていただきますが、左から2番目の建築概要のところ、まず規模が地上6階、塔屋1階、それから構造形式が鉄骨の耐震構造ということになっております。

5行目に延べ床面積を記載しております。以前計画をお示しして御説明させていただいた際には、床面積6,650平米とお伝えしていたと思います。これは庁舎本体だけで、別棟の車庫棟とかは含まれておりません。庁舎本体だけで6,650平米とお伝えしていましたが、平面計画を詳細に調整し、詰めていった結果として6,642平米と若干小さくなっております。

それから、その3行下で建物の高さ、最も高い部分で28.5メートルとなっております。

それから、その下の段、駐車台数ですが、これも以前から説明させていただいていると思いますが、庁舎周辺で95台、うち思いやり駐車場と記載しておりますが、これはいわゆる身障者用のもので、これが3台。またこれとは別に中銀前にも市民センターと兼用のもので20台から30台程度は確保できる予定としております。

次に、右へ行きますと、電気設備の概要についてですが、5行目で太陽光発電設備と書き込んでいます。屋上にパネルの設置を考えておりますが、ただ、これも面積の関係で発電量が20キロワットと非常に小規模なものになっております。その割にはちょっとインシャルコストもかかるということで、投資効果が薄いという点が若干課題になっており、今後もう少しこれは検討する必要があるというふうには考えております。

その下の行、電灯設備ではLED、照明はもう全てLED、それから人感センサーや明るさセンサーといったもので制御をして、電力消費を抑えるように考えております。

それから、右側、空調換気設備では、熱源に都市ガスを使うと、都市ガスを使っている空調機器を考えております。ちょうど大阪ガスが目の前の道路を通っておりますから、電気代と比較しますと非常に安価になるということで、実際機器自体のインシャルコストは若干高くなりますが、料金を比較しますと、年間で恐らく300万円程度は削減できるのではないかという試算結果が出ております。トータルで考えても、15年スパンほどで考えたときに、恐らく2,000万円程度は安くなるのではないかという想定をしております。さらにまた、そのインシャルコストが高くなるという点についても、このインシャルの段階では合併特例債が充てられるという面もございまして、それよりはむしろ後々のランニングコストを抑えることができるというのが非常に有利ではないかということでガスの採用を考えているものでございます。

次に、裏面の2ページを見ていただき、こちらが全体の配置図と各階の平面図及び立面図となっております。

平面計画については、これまでも御説明させていただいていると思いますが、改めて少し簡単に説明させていただきます。

まず、1階ですが、玄関ロビーとエントランスを広くとり、情報発信や展示ギャラリー、あるいは小規模なイベント等に活用できたらというふうに考えております。それから、1階の執務スペースに関しては、市民窓口課、税務課、保健福祉部の一部など、窓口の業務が中心となってきます。また、プライバシーに配慮して、相談室を4部屋ほどとるようにしております。

2階ですが、ここにも保健福祉部の一部と、市民協働課や環境課、保健センター機能もこの2階のフロアに置くように考えております。それから、2階の西の端には、多目的スペースを設け、市民協働の活動とかキッズスペースといったようなことに活用できればいいのではないかと考えているところでございます。

3階へ行きますと、3階は市長室ほか、いわば市役所の中核となる部署が入ってきます。総務

課、企画課、財政課、危機管理課などと、あと3階には大会議室も設けており、災害等非常時にはここが災害対策本部となる予定でございます。

4階はまち整備課、まち営業課、上下水道課などの事業部門と、あと全体の文書収納のために大きな書庫を1つ設けるような予定にしております。

5階へ行きますと、5階は教育委員会とICT関係の機器類が入るサーバールームとなる予定でございます。

6階が議会フロアということで、今までいろいろ御意見を頂戴して、調整した結果、平面図を完成させております。

ただ、1点だけ未調整のところがございます。以前御意見をいただきましたが、議員控室と書庫、倉庫、この位置を南北を逆にすべきではないかといった御意見をいただいております。その方向で実施設計では調整を進めております。それから、広さも書庫を少し圧縮して、控室を広げるように考えております。今お配りしている図面では修正が間に合わなかったもので、これから詳細設計、実施設計の中でその辺は調整していきますので、御容赦いただきたいと思います。

それから、全フロアの共有部分について、階段室やエレベーターは各回東西に2カ所ずつの配置ということで考えております。トイレ等は、職員や来庁者数を推計して個室数、便器数を設定しております。また、多目的トイレは各階に全て配置するように考えております。

3ページ目をごらんいただき、環境への配慮と防災計画についてということで、まず自然エネルギーの有効活用として、先ほど申し上げた太陽光発電とか、あと自然換気や自然採光といった活用、それから階段室を、これはエコボイドと申して、いわば環境のダクトに利用するといったような技術も含めて考えており、また、右側の省エネルギー化といったところで、各階にひさしを設置するように考えていますが、これによって日射の制御といったこと、それから、材料についてはエネルギー損失の少ないものを用いるといったことで、さまざまな工夫で空調の負荷を軽減していくことを考えております。それから、照明についても、先ほど申し上げたようにLEDと、あとセンサーの活用により、効率化を図って消費電力を節減していくという考えでおります。

それから、その下、防災計画でございますが、まず耐震構造については、そこに書いておりますように重要度係数1.5の耐震構造ということで考えております。重要度係数1.5といえますのは、国の基準でございますが、市役所の庁舎のような防災拠点となるような施設では、地震力を算定する際に1.5倍に割り増しをして考えるという、そういうものでございます。

それから、その下で浸水被害への対策については、平成2年災の折に庁舎の1階が床上浸水しております。こうしたことのないように、この際の水位より余裕を持たせて、1階の床高を高くして設定するように考えております。また、上げてさらにもまだ高い水、水位が来た場合、万が一のときを考え、床上浸水の防止として、そこに防潮板と書いてありますが、ゲートといったようなものを各出入口に設置して浸水を防ぐといったことを考えております。

それから、災害対策機能の充実ということで、これも先ほど平面図のところでも少し御説明しましたが、新庁舎の3階に市長室、災害対策本部用の部屋を設け、有事の際の機能強化を図っていきます。

それから、電気、給排水、通信では、いずれも地震等により途絶した際の代替機能というものを考えております。電気の場合は、非常用発電機で3日間程度の発電が可能ないように、それから、給排水の場合は上水で4日間、下水で7日間程度の対応が可能ないようにそれぞれ水槽を設置する予定でおります。それから通信に関しては二重化、2ルート化といったようなことで、これもまた途絶した際のバックアップ機能というものを確保するように考えております。

今御説明したような内容を下の図面へあらわしております。

簡単ですが、基本設計の説明は以上でございます。

この概要版は、近日中にホームページに掲載する予定にしております。また、「広報びぜん」の11月号にもほぼ同様の内容で記事を掲載させていただくようにしておりますので、またごらんになっていただけたらと思います。

続いて、また報告ですが、保健センター、福祉事務所等の第1期解体工事を12月ごろからの着手ということで以前から申し上げていたと思いますが、この入札を去る10月24日に執行して、吉形工務店が落札されております。落札金額が2,664万円で、請負金額はこれに消費税を足して2,877万1,200円でございます。先日出札が済んだということで、今契約手続を進めているところでございます。これから施工計画を立案してもらって、実際に現場に着手するのは12月からの予定ということで考えております。

次に関係の予算でございますが、11月定例会へ提出を予定しております補正予算の内容についてでございますが、いよいよこの11月補正で新庁舎本体の工事費を要求させていただく予定でおります。これは29年度から31年度までの3年間の継続費となる予定でございます。実際の工事発注は30年度に入ってからになりそうですので支出が生じてくるのは30年度、31年度ですが、今年度中、29年度中に指名委員会とか、あと起工伺いといったような準備を進めることになってこようかと思っております。そうした準備を進めるにおいても予算措置が必要になりますので、3年間の継続費とさせていただくものでございます。

それから、そのほかに買収予定地、駐車場の用地を買収するように予定をしていますが、買収ができれば若干の整備が必要になるということで、こうしたものの工事費とか、保健センターに現在身障者用トイレがありますが、これが解体に伴って使えなくなるということで、代替設備を確保する必要があるということで、こういったものの費用を計上させていただく予定でございます。11月定例会では御審議をよろしくお願いいたします。

もう一点、第3回目のワークショップ開催を予定しております。日時は11月14日の6時からということで、詳しくはまた追って文書等でお知らせさせていただきたいと思っております。公開しておりますので、御興味のある方、御都合のよろしい方、傍聴をいただけたらというふうに思

います。

○守井委員長 委員の方から何か質疑がありましたらお願いいたします。

○掛谷委員 ちょっとけちをつけるようで悪いが、ちょっと外観的に品川が2つ、これがもう一個できるようなイメージになって、思えてしょうがないんですよ。このデザインというのはもう決定ですか。今の中身の話、非常にもう充実しているの、あと太陽光発電がちょっとどうのこのとか、修正ができる部分だと思うし、ただ、このデザインについてもこれ決定したら、これでもう行くということですか。

○平田庁舎建設担当官 最初のところで御説明をしましたが、イメージということで捉えていただきたいと思います。これから調整していく中で当然変わってくる可能性はございます。備前焼なども、まだどこにどういうふうにするかといったようなことについて、余り具体的な調整にはまだ入れておりませんから、これからそのあたりがどうなるのか。

それから、絵の中で見ていただいてわかりますように、耐火れんがのすかし積みというのがかなりの面積で設置されるようになっておりますが、これなども結構な費用がかかってくると思います。そうした事業費との兼ね合いともございますので、そのあたりはこれから調整していきたいとは考えておりますが、大体大まかなイメージとすれば、今絵にお示ししておりますような形のイメージでできれば進めたいというふうには考えております。

ただ、委員の皆様方からも外観について御意見があるのであれば、いろいろ頂戴をして、今後の検討においては、そのあたりも参考にさせていただきたいというふうには思います。

○掛谷委員 1階、2階はガラス張りでもう申し分ないし、耐火れんがのすかし、これ、まあ外観でしょう、実際これ強度はないわけです、余りね、中をすかすと。備前焼も高価なものだし、全部が全部それを取り入れる必要もない、ある部分のところを、そういう部分部分でいいと。

全体的にきょうもらった右上のデザインなんかは、いわゆる県営住宅のようです、これ、岡山の東山に、新京橋かな、あそこを通るときに県営住宅が2つできとんです、大きなのが、たしか7階、8階建てかな。よう似とんですわ、昔もうぼろぼろの県営住宅を建てかえたのが、この右上のような感じのイメージですよ。

ですから、もう少し、ちょっと格好がいいとは言わないけど、お金を物すごくかけてもいいけんから非常に言いにくいですが、もう少しイメージ的に、ああ、ええなあというふうにはならんかなという意見をちょっと言わせてもらいます。ほかの議員の人は、いやあ、これでええんじゃ言われりゃあもうええんですけど、私はそう思いましたので、一言言わせてもらいます。

○平田庁舎建設担当官 ありがとうございます。

特にデザインといった部分は、それぞれ人によって考え方、受けとめ方がもう非常に違ってこようかと思っておりますので、難しいところだと思いますし、この絵も我々が一から十まで考えたわけではなく、設計事務所の提案でございますから、つくる人のセンスといった部分でも変わってくるところがあらうかと思っております。例えば、こういうデザインにしてほしいといったようなことが

あれば、またそれが可能かどうかは別として、参考までに御意見は賜りたいと思いますので、また言っていただけたらというふうには思います。

○川崎委員 私も当初前市長のときに出した明るいイメージがいいんじゃないかなあと、1メートル南が短こうなっただけということだったと思うので、ああいうデザインも参考にさせていただけたら、少しは明るい、それでなくても備前焼は何か煙でほこりっぽくって汚い町というイメージがある、それをせめて市庁舎ぐらいは明るくて備前焼のよさが発揮できるようなもの、イメージのものにできたら、21世紀を担う庁舎ですから、そういうイメージも大切と私は思っています。

それで、1つ気になっているのは、ガスヒートポンプ式で経費が安くなるということは、それはそれで結構なことですが、ガスは自然排煙ということで、今と同じように各階に、各部屋ごとに室外機かなんかがあるのか、それとももう全部屋上で一本で大型で全館やるのか、やっぱりガスということになれば、今の電気の室外機よりは排ガスなり、騒音なりが高いということが危惧されますので、どういう設置になるのか、一応説明をお願いしたいと思います。

○平田庁舎建設担当官 申しわけございません。機器の部分、まだこちらもちよっと勉強不足で、室外機は屋上に配置するというのは聞いていますが、正直細かいことについてはまだ具体的なものも示されておられませんし、これからちよっと研究していくということになりますので、またいずれ御説明させていただけたらというふうには思います。

○川崎委員 百貨店とかああいうのは屋上に大型の物すごいのが、スプリンクラーか、大きなものがあるが、そういう1点集中で全て配管で冷暖房をやっていくのがいいのか、それとも今みたいに各階へ室外機がある方式がいいのか、ランニングコストの面で、やはりどっちがいいのかもぜひ研究していただいて、プラスそういうガスによる、ヒートポンプによる排ガスの問題と騒音の問題、そこらも考えて一極がいいのか、各階がいいのか、そういうこともぜひ実施計画までにはそれなりの情報をこちらに報告をお願いしたいということだけ要望しておきます。

○平田庁舎建設担当官 ありがとうございます。

御指摘の点よく踏まえまして、検討したいと思います。

○川崎委員 それから、太陽光ですが、私は21世紀、できるだけ再生エネルギーで、自力で担っていくのがもう時代なので、間違いなく各家庭も余裕がある家庭は消費エネルギーゼロ%というか、そういう方式になると思うので、たしか前市長のときにはこの全館そういうエネルギーで賄っていきたいというようなことがありました。自家発電も結構ですが、できれば余裕ができるなら屋上なんかできるだけ太陽光にさせていただいて、自前でエネルギーを賄っていただきたいということも、できるだけ余ったお金はそこに集中して、これだけの建物であれば20キロじゃなくて最高50キロまでいくのか、30キロいくのかちよっと面積的にはわかりませんが、やっぱり最大限やっていくことがランニングコストの削減になると思いますので、そういう点もぜひ検討材料をお願いしたいと思います。

○平田庁舎建設担当官 ありがとうございます。

先ほど検討過程で課題がいろいろあるというふうに申し上げましたが、やはりまずその規模でございまして、屋上へ設置するというところで考えているわけですが、先ほど申し上げたように室外機とか、キュービクルとか、屋上にはかなりもろもろの機械類が乗っかってくるということで、今考えているのは、ちょうど議場の上の部分がぽこっと1段高くなると、その部分が空きスペースになるので、そこにどうかというふうに考えているところでございます。面積で考えると、目いっぱい使って大体20キロワットぐらいかなというところでございます。

ただ、イニシャルコストをざっと計算しますと、一千五、六百万円ぐらいかかるだろうという中で、逆に20キロで賄える電気代といえますか、年間その支払わなくて済むようになる電気代といえますのが、三十数万円程度ということではないかなというところで試算をしております。

ですので、大体この試算の中では30年ぐらい機械寿命を考えており、その中間、15年程度のところでパワーコンディショナーなどの機器類を一部更新する必要があるということで、当初のイニシャルコストとその15年目の一部機器の更新の部分でどうしても若干の費用がかかってしまうと。それに対して30年間、その三十数万円の電気代が節約できる部分を引き算したときに、残りの費用が大体1,000万円ほどマイナスになってくるのではないかなといったような試算が出ております。そのあたりが非常に悩みどころで、そうした太陽光の部分にも合併特例債を充てられる可能性が高いので、そういった点から考えれば、そこもイニシャルな部分はかなりカバーできるのではないかなというふうに思いますし、また今後何らかの形で補助事業、国から補助金を充てていただくといったような事業がないかどうか、そのあたりも検討の必要があろうかと思えますし、そのあたりしっかり検討していきたいというふうに考えているところでございます。

○守井委員長 ほかに。

○尾川委員 3枚目の、受水槽というか、平面にあるでしょう。ただでさえ狭い、狭い言ゆるのに、こういう受水槽は昔の建物だったらあるが、こういうのは、最近の建物でこんなものを見える場所へ、どういう状態かわからんでしょう、これ、こういう状態になつとるといものを何か、ただでさえスペースが少ねえのに何か方法がないのかという感じがするが、専門的な立場があるから、私もその程度しかよう言われんのんですけど。

○平田庁舎建設担当官 そうですね。この絵の中では地上に設置するようになっています。割とどことも水道の受水槽については地上に設置しているところが一般的のようではございますが、今のお話だと、例えば地下へ埋設できないかといったようなことも含めて検討しろということだと思いますので、ちょっとこちらも勉強不足のところがございますので、その辺がどうなのかというのを今すぐお答えできませんので、検討はしたいと思えます。

○守井委員長 ほかに。

○掛谷委員 ちょっと教えてください、同じところ、近いんだけど、防潮板の設置が60センチ

ほど、出入り口だけに設置するのは、役がこれで立つのかなど。役立てばいいが、なぜ出入り口だけこれをやるというのは意味があるのかなあというようなことを思いますし、このピットというのは、緊急汚水槽というのは、災害時にここへ水がたまるという意味ですか。ためておくという意味ですか。その高さが2.6メートル、これは道路から2.6メートル高いということですか。この3点ちょっと、間違いないかどうか。

○平田庁舎建設担当官 防潮板の設置ですが、これはもう1階のフロアが床上浸水にならないように、それを防ぐためだけにつけるといいます。本来なら浸水の対策とすれば、できるだけ庁舎を上げて、周りがその水につかっても庁舎の中に水が入ってこないというような形にするのが理想ですが、実際にはやはり地理、地形的な条件の中で一定の制約もございます。余り1階の床を高くしてしまうと、周りの駐車場や道路からのアクセスが難しくなってきますし、場合によっては例えば中2階のような形にして、エレベーターで上がるといったような方法もあるのかもしれませんが、そういう形にしますと事業費もかなりかさみます。

そうした現実的な地理、地形を踏まえた上で考えたときに、そこへ書いておりますTP2.6といえますのは、これはいわゆる標高でございます。東京湾中等位を基準としたTP標高というもので、2.6にしておけば平成2年の浸水のときよりも高いぐらいの高さになると。たしか今実際に旧庁舎の1階床高がTP2.3メートルになっておりますから、それよりは30センチほど上げるといふ計算にしているわけでございます。

さらに、庁舎だけでなく、周りの駐車場等の敷地も可能な限り高くして、実際にこの庁舎の前の南側の道路はTP標高が1.6メートルということで低いので、実際大雨が降ればつかってしまうということで、逆に北側の旧山陽道のほうが幾らか高さが高くなっております。特に東へ東へ上り勾配になっておりますから、できるだけその高いところから庁舎のほうへアクセスをしてこられるようにということで、その高い部分に合わせて敷地全体もある程度上げてやるというところまで考えているところでございます。

庁舎だけを高く高くしてみても、周りが水没してしまっただけで庁舎が孤立してしまうようなことになりますと、これもまた余り意味がないということになりますから、できるだけそうならないように高いところからアクセスできるようにつないでいくと。なおかつ、それでも万一周りが水没してしまうようなことになったときに、せめて床上浸水をしないようにゲートを入り口につけて中への浸水を防ぐという、そういう考え方のもとにしているということでございます。

ピットについては、その絵にあるように緊急汚水槽ということで水をためるといった機能と同時に、実際地下にはもろもろの給排水等の配管が通ったりしていますから、そうしたもののメンテナンスといったようなことも含めて、地下に空洞を設けるというようなものでございます。

○守井委員長 意見がある場合は、今週中に意見が出されれば、まだ大丈夫ですか。

○平田庁舎建設担当官 そうですね。内容によっては、まだまだ今後実施設計の中で調整していくというものでございますから、調整可能なものは幾らでもあろうかと思っておりますので、御意見い

ただければよろしいかと思えます。

○田口委員 太陽光ですが、一般家庭のその太陽光が1キロワット30万円の時代に、20キロで1,500万円と、6階の屋上へつけるから高いとか、そりゃあという話もあるかもわからないが、そりゃあもう業者が大喜びするわなあ、市役所さん、ありがとうございますというて。もうちょっと研究する必要があると私は思いますが、いかがでしょうか。

○平田庁舎建設担当官 試算ということで設計事務所の提示しているもので、どこまで詰めているのかというのは、私どもも今の段階では確認ができておりませんから、おっしゃられますとおりその辺はしっかり研究していきたいというふうに思えます。

○守井委員長 ありますか。

○山本（恒）委員 汚い町じゃから、この庁舎の色はやっぱり汚れ目が目立たんような、真っ白やこうにしたら、四、五年したら色を塗りかえにゃあいけんから、そこら周り維持費のかからんような色に、県営住宅の色じゃなんじゃいうていろいろあるけど、汚れ目の余り目立たんような色がええと私は思いますが。

○平田庁舎建設担当官 ありがとうございます。

御意見参考にさせていただきます。

○守井委員長 御意見ある方、よく見ていただいて、今週中はまだ大丈夫ということなので。

○石原副委員長 工事、近々解体に入って、その後本体工事にかかるでしょうが、工事期間中の駐車場というのは、どういう形で。

○平田庁舎建設担当官 以前にたしか工事中の駐車場計画についても資料をお配りしたと思えます。当面この解体の工事のときには、この庁舎周辺の駐車場もかなり台数が、まだ四十数台残ります。それから、北側に14台ほど別に道路を挟んだ北側にございますし、それでも足らなければ、市民センターのほうを御利用いただくということで、それでも全部合わせれば現状と同程度か多いぐらいの台数は確保できているというふうには考えておりますので、よろしく願いいたします。

○田口委員 山本議員、先ほど汚い町と言われたんですけど、何をもって汚い町と言われんのか。

○山本（恒）委員 いいや、煙やほこりで、そのような感じで。ほこりやごみが、煙がおりてくるからというような。

○田口委員 それならね、もう少しやっぱり表現を変えていただかんと、議員が汚い町じゃいうて、その汚い町に移住してください、定住してくださいというて言わにゃあかんわけじゃから。もうちょっとこうやわらかい表現で……。

〔「わかりました」と山本（恒）委員発言する〕

これからはお願いします。よろしくをお願いします。

○守井委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上をもちまして庁舎特別委員会を終了いたします。閉会といたします。
御苦労さまでした。

午後0時05分 閉会